

(様式1)

国際協力型廃炉研究プログラム（日露）申請書

課題名						
申請機関	機関名					
	代表者	役職名		氏名		
	所在地	〒 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">正式名称を記載ください。</span>				
日本側事業代表者	ふりがな氏名			役職名		
	所属部署名					
	連絡先	Tel.	Fax.	E-mail		
	勤務先住所					
日本側事務連絡担当者	ふりがな氏名					
	所属部署名					
	連絡先	Tel.	Fax.	E-mail		
再委託先機関事業責任者 ※1	ふりがな氏名			役職名		
	所属部署名					
	連絡先	Tel.	Fax.	E-mail		
JAEA 事業責任者 ※2	ふりがな氏名			役職名	国際協力型においては、相手国代表を記載してください。	
	所属部署名					
	連絡先	Tel.	Fax.	E-mail		
露国側事業代表者 (英文可)	氏名			役職名		
	所属部署名	明瞭かつ簡潔に (400字程度)				
	連絡先					Tel.
	勤務先住所					
課題概要	課題の概要について明瞭かつ簡潔に記載してください。(400字程度)					
再委託先機関及び所要見込額 (概算) ※1、2	機関名 (事業代表者及び事業責任者名)		年度別所要見込額 (単位: 千円) ※該当の年度のみ記入してください。			
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
	申請機関	( )	提出時には、四角で囲まれた注意書きは削除してください。以下同様。(背景を黄色にしています)			
	再委託先機関	( )				
	JAEA	( )				
計						

※1: 上記再委託先機関にかかる欄は、再委託先機関がない場合は記載の必要はありません。再委託先機関が複数ある場合、適宜欄を追加してください。2ページになっても構いません。

※2: JAEAが参画する場合に記載ください。JAEAの参画がない場合は記載の必要はありません。

赤枠を付けたのは、経費に関する項目となります。様式2、3、4における経費との整合を図ってください。

(様式2)

提案課題全体の研究計画

i. 福島第一原子力発電所廃炉ニーズとの関係性 提案課題によって解決が図られる「基礎・基盤研究の全体マップ」の一件一葉に示される課題番号とニーズ番号の組み合わせを最大5つ記載ください。 「基礎・基盤研究の全体マップ」： <a href="https://fukushima.jaea.go.jp/hairo/platform/map_2019.html">https://fukushima.jaea.go.jp/hairo/platform/map_2019.html</a>			
記載例	課題番号－ニーズ番号：21-1	No. 3	
No. 1		No. 4	
No. 2		No. 5	
研究成果が必要となる時期（自由記述） （～のプロセスの前、2021年まで 等）			
「基礎・基盤研究の全体マップ」で示され、提案課題によって解決を狙う廃炉のプロセス以外にも提案課題の成果を反映できる廃炉プロセスがあれば具体的に記載ください。			
研究段階（1つを選択してください。） <input type="checkbox"/> 開発・検証段階 <input type="checkbox"/> 応用・高度化段階 <input type="checkbox"/> 実用化段階			
研究分野の分類（1つを選択してください。） <input type="checkbox"/> モデル・手法開発 <input type="checkbox"/> 装置・設備開発 <input type="checkbox"/> 特性・状態把握 <input type="checkbox"/> 材料開発 <input type="checkbox"/> 解析・評価 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
研究課題の分類（選択してください。複数可） <input type="checkbox"/> 原子炉内の状態把握に関する研究開発 <input type="checkbox"/> 廃炉に係る重要な基盤現象(腐食・変質、ガス発生等)に関する研究開発 <input type="checkbox"/> 解体・輸送に関する研究開発 <input type="checkbox"/> 保管・貯蔵に関する研究開発 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理・処分に関する研究開発 <input type="checkbox"/> 環境回復に関する研究開発 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
研究設備等の分類（主に利用するものを選択して記載ください。複数可）		<input type="checkbox"/> 研究遂行に使用する特徴的な解析コード（ ） <input type="checkbox"/> 分析(ホット・コールド)装置・設備（汎用装置(例えばPC)を除く） （ ）	
研究課題のアウトプットとその反映先の記述	研究成果によりどのような結果が得られると考えていますか？	アウトプット（具体的に記載） （どんな物理量、情報、データか？が判るレベルで記載）	
	研究成果により1F廃炉全体にどのような成果・影響が与えられると考えていますか？	アウトカム（具体的に記載） （どこに、どのようにメリットがあるかを具体的に記載ください。）	
	1F廃炉全体への成果の反映に必要な別の研究、または、その成果と組み合わせることで、1F廃炉全体の実現可能性が高まりかつ合理的となる、シナジー効果を生み出す他の研究があれば、その研究概要を記載ください。 （例えば、〇〇の測定技術を提案したが、AIによる逆解析研究と組み合わせることで××が可能となり、被ばくを合理的に抑えることができる。等）		

ここは全体の注意欄ですので、申請時には削除し、ii-1以下から記載ください。

## ii. 全体計画

以下の「ii-1」～「ii-4」について、「I. 公募の内容」に記載されている研究内容や「II. 4. (2) 審査基準」の記載内容を踏まえ、以下の欄に具体的かつ定量的に記載してください。  
(3ページ程度にまとめてください。)

### ii-1 研究目標の妥当性

- 背景と目的を明確にしたうえで、研究終了時における達成目標を具体的かつ定量的に記述してください。

### ii-2 研究内容の革新性、独創性、新規性

- 最近の研究動向を踏まえて、提案する課題が、革新性、独創性、新規性に富む先端的研究であるとともに、技術的妥当性について記述してください。

### ii-3 研究効果及び研究の有効性、発展性、相乗効果

- 研究目標が達成された場合の実用化に向けた発展性について記述してください。また、原子力基盤技術の向上に寄与する効果についても記述してください。
- 他の技術分野への波及効果が期待できる場合には、それについても記述してください。
- 研究の実施に当たって、今後、当該分野（募集テーマ）に長期的に携わっていくことのできる拠点形成を見据えた実施体制について記述してください。
- 分野横断的な実施体制について記述してください。
- 露国との共同研究を行うことで期待される相乗効果について記述ください。

### ii-4 研究計画、研究遂行能力、研究体制の妥当性

- 後続の「2. 実施内容」、「3. 年次計画」及び「4. 実施体制」をまとめて本計画全体が目標達成のために過不足なく立案されていることを記述してください。
- 課題解決に向けて、研究組織の分野横断的な有機的連携が保たれ、研究が効果的に進められることを記述してください。

本プログラムでは、iiiに該当する様式は不要ですので省略します。

○ここに書いていることが審査基準に対応しておりますので、明確に整理して記入するようお願いします(3ページ程度)。

(様式2つづき)

## 2. 実施内容

研究目標とそれを達成するための方法について、実施項目毎に内容を記述してください。また、その項目を担当する機関を（ ）内に記載してください。その際、実施項目間の関係が分かるように記述してください。(1～2ページ程度でまとめてください。)

実施項目 (担当機関)	研究目標と方法
(1)・・・に関する研究 (〇〇大学) (細目まで記載) ①・・・に関する試験 (〇〇大学)  ②・・・に関する解析 (××研究所)	[研究目標] [方法]
(2)・・・に関する研究 (△△機構)  ①・・・  ②・・・  ③・・・	[研究目標] [方法]
(3)・・・に関する研究 (△△機構)  ①・・・  ②・・・	[研究目標] [方法]
(4) 報告書作成等 (〇〇大学)	

※以降の記載においても本項目区分に沿って記載をお願いします。

○ここで書いた実施項目区分で、その後の3. 年次計画(線表)や4. 実施体制(体制図)を整理してください(1～2ページ)。

3. 年次計画（線表）

研究目標を達成するためのロードマップ（年次計画）を記述してください。  
各時点で何を達成すべきかのマイルストーンがわかるようにしてください。

- (1) 実施項目（細目）ごとに記載してください。また、実施機関が分かるように記載してください。  
（線表の下に直接経費の見込額を記入してください。）
- (2) 下の表は3年計画を例示したものであり、研究期間に応じて適宜記載してください。
- (3) 間接経費は、直接経費の合計の30%としてください。合計額が公募の研究経費内であることを確認して下さい。
- (4) 研究の終了時期は令和2年12月として下さい。

実施項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度			経費の総額
直接経費						
間接経費						
合計						

○次のページに記入例がありますので、ご参照ください。

○日露共同原子力研究については、令和2年12月までとしてください。

(様式2つづき)

【例】本ページは記載例なので提出時には削除してください。本プログラムは2年で計画ください。

(単位：千円)

実施項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	経費の総額
(1)・・・に関する研究 ①・・・に関する試験 (〇〇大学)	<p>・・・の準備</p> <p>← 5,000 →</p>	<p>・・・の試験</p> <p>← 3,000 →</p>	<p>・・・の試験</p> <p>← 2,000 →</p>	10,000
(以下同様に、実施内容と予算額を記載)				
②・・・に関する解析 (××研究所)	← 1,000 →	← 1,000 →		2,000
(2)・・・に関する研究 (△△機構)				
①・・・	← 5,000 →			5,000
②・・・		← 2,000 →	← 2,000 →	4,000
③・・・				
(3)・・・に関する研究 (△△機構)				
①・・・	← 400 →	← 1,000 →	← 400 →	1,800
②・・・				
(4) 報告書作成等 (〇〇大学)	← 100 →	← 100 →		200
直接経費	11,500	11,500		23,000
間接経費	3,450	3,450		6,900
合 計	14,980	14,980		29,900

(様式2つづき)

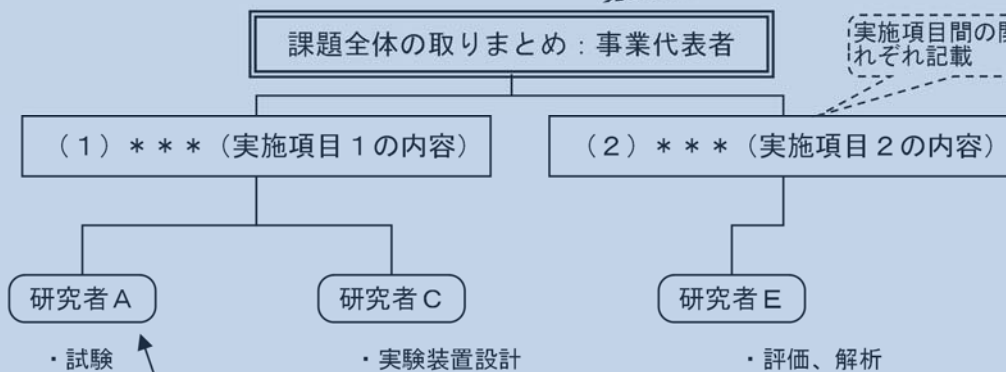
- (1) 下の図はイメージであり、記載形式は自由です。課題を構成する実施項目、実施内容、研究チームを構成する各機関の実施分担及び全ての研究の実施者の担当内容、指揮命令系統が分かるように記載してください。
- (2) エフォート（研究充当率）について  
総合科学技術会議におけるエフォートの定義「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（%）」に基づきます。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育等を含めた実質的な全仕事時間を指します。一人の研究の実施者が複数の実施項目に係わる場合は、その項目に係わるエフォートを記載するのではなく、この課題に係わる全エフォートを各実施項目に記載（全て同じ値）してください。
- (3) 露国側の研究体制は概略で結構です。（エフォートの記載は不要）

水色枠を付けたのは、研究者名を記載する項目となります。  
様式5、6との整合を図ってください。※水色は不要

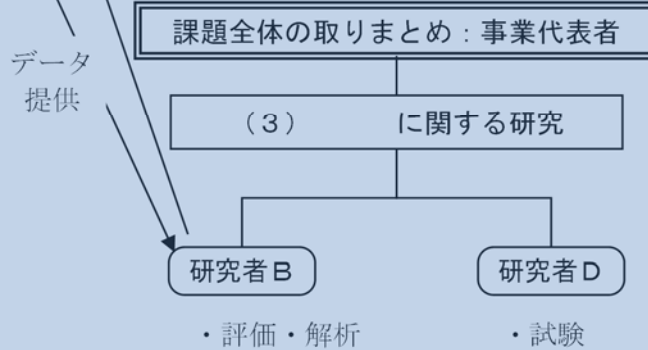
【例示】

#### 4. 実施体制（体制図）

### 【日本側】



### 【露国側】



国際協力型においては、相手国との関係も記載してください。

※JAEAが参画する場合には、「JAEA（連携機関）」と記載ください。  
JAEAとは、再委託契約は締結いたしません。

○形式は自由ですが、以下のことが分かるよう記入ください。

- ・誰が事業の代表者で研究者間の関係、再委託先との関係
- ・各研究者の担当
- ・各研究者のエフォート

(様式3)

全体計画の内訳

- (1) 中項目等ごとの金額は千円単位（千円未満四捨五入）とし、原則として消費税込みで記載してください。ただし、人件費、謝金、外国からの購入等に係る、非課税・不課税取引の10%は中項目「消費税相当額」に計上してください。
- (2) 再委託先機関が存在する場合は、各欄に下段に経費を（ ）書きで機関別に内数で記入してください。  
※再委託先機関がない場合はこの限りではありません。
- (3) 中項目「設備備品費」は、取得価格が10万円以上かつ耐用年数が1年以上の機械装置、工具器具備品の購入、製造又は委託費で取得した機械装置等の改良に要する費用及び経費を計上してください。設備備品費で取得した物品はJAEAへ所有権を移転することになります。
- (4) JAEAへ所有権を移転することが見込まれる試作品については、中項目「設備備品費」に計上してください。
- (5) 中項目「人件費」は業務・事業に直接従事した者の人件費で補助作業的に研究等を担当する者の経費も含まれます。また、国の補助金等からの人件費支出との重複は認められません。
- (6) 中項目「外注費」は、試験片の加工や、計測等を外注する経費を計上できます。委託業務に専用されている設備備品で委託業務使用中に故障したものを補修する場合も含まれます。
- (7) 中項目「光熱水料」は、間接経費からの支出では見合わない試験等による多量の使用の場合のみ、かつ、原則個別メーターがある場合のみ計上してください。
- (8) 大項目「間接経費」は、本事業遂行に関連して間接的に必要となる経費（直接経費の30%）です。ただし、JAEAが連携機関として参画する場合には、JAEA分の間接経費は計上できません。
- (9) 年度は、該当の欄のみ記入してください。

1. 年度別所要経費		(単位：千円)			
大項目	中項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
1. 物品費 Research materials	設備備品費	〇〇 1,000 (△△ 500)			
	消耗品費				
2. 人件費・謝金 Personnel costs	人件費				
	謝金				
3. 旅費 Travel	旅費				
4. 会議費 Organisation of costs					
5. その他 Living expences	外注費				
	印刷製本費				
	通信運搬費				
	光熱水料				
	その他 (諸経費)				
	消費税 相当額				
6. 間接経費 上記経費 30% Eligible indirect costs					
計					

○各項目については、募集要項64ページからの府省共通経費取扱区分表や53ページからのQ&A並びに上記注意書きを確認の上、ご記入ください。



(様式3つづき)

- (1) 「実施項目・品名」は、「(様式2) 2. 実施内容」の実施項目毎に品名を整理して記入してください。
- (2) 金額欄には**既に保有している場合は「0円」と記入**してください。リース・レンタルの場合は事業期間全体での総額を記入してください。

2. 研究に必要な施設及び設備備品・機器			
実施項目・品名	用途	金額 (千円)	保有・購入・リース・ レンタルの区分
<p>【実施項目】</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>			
<p><b>研究項目・品名欄は、様式2の2.実施内容の実施項目毎に整理して記入してください。</b></p>		<p><b>既に保有している場合は「0円」と記入してください。</b></p>	
<p>【実施項目】</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>			

(様式4)

機関別研究計画

- (1) **機関ごと**に作成してください。
- (2) 「2. 機関の事業代表者」には、主委託先機関の場合は事業代表者、再委託先機関の場合は事業責任者の氏名を記入してください。
- (3) 「3. 課題名」に記載する「実施項目」は「(様式2) 2. 実施内容」の実施項目を記入してください。  
(各機関**3～5ページ程度**にまとめてください。)

○研究機関毎に作成して下さい(同一機関の場合はまとめてください)。

1. 機関名		2. 機関の事業代表者	
3. 課題名 (再委託先機関は実施項目)			
4. 年次計画	年度別に具体的に記載してください。		
5. 令和元年度における業務の内容	実施項目別に具体的に記載してください。		
<b>機関毎の事業の責任者</b>			
6. 業務の実施場所、事業責任者及び分担実施者			
実施項目	実施場所(機関名、所在地)	事業責任者(氏名、ふりがな、所属、役職、連絡先:Tel, Fax, E-mail)	
実施項目	実施場所(機関名、所在地)	分担実施者(氏名、ふりがな、所属、役職、連絡先:Tel, Fax, E-mail)	
7. テーマに関連してこれまで受けた研究費と成果等			
<b>同一機関で他に研究を分担している研究者がいるとき。</b>			

(様式4のつづき)

令和元年度予算のみで良い。

8. 令和元年度の所要経費			
大項目	中項目	主な品名・仕様・数量等	金額(千円)
物品費	設備備品費		
	消耗品費		
	計		
人件費・謝金	人件費		
	謝金		
	計		
旅費	旅費		
	計		
その他	外注費		
	印刷製本費		
	会議費		
	通信運搬費		
	光熱水料		
	その他(諸経費)		
	消費税相当額		
計			
間接経費	上記経費の30%		
総額	合計		

9. 経理 担当者	ふりがな 氏名		所属・ 役職	
	連絡先	Tel.	Fax.	E-mail
	所在地			

(様式5)

事業代表者及び研究者の研究歴等

- (1) 「(様式2) 4. 実施体制」に記載した研究者全員について記載してください。
- (2) 各研究者の研究業績については(様式6)に記載してください。
- (3) 採択後採用するポストドクター等については記載する必要はありません。

ふりがな 研究者氏名 (所属機関名・ 所属部署・職位)	最終学歴 及び学位	専門分野	研究歴 (受賞歴・表彰歴を含む)

- 様式5が研究履歴、様式6が論文や特許等の研究業績
- 研究体制がしっかり組まれているか、研究体制に書かれている担当者の能力が研究実施に相応しいかの評価対象となるため、本研究に必要となる項目に長年従事している等はアピールとなる(特に記載事項がなければ研究歴の記入は不要)。

(様式6)

研究者調書

- (1) 「(様式2) 4. 実施体制」に記載した研究者全員について記載してください。露国側参加機関については、事業代表者1名のみで結構です (英文可)
- (2) 「研究業績」欄に知的財産権を記載する場合は、本申請に関連したもの5件以内を、本申請との関連性とあわせて記載してください。
- (3) 「課題の区分」には、「(様式2) 2. 実施内容」に記載した項目を記入してください。  
**(各研究者当たり1ページ以内にまとめてください。)**

所属機関・ 部署・役 職・機関コ ード番号		ふりがな 研究者氏名	
本事業のエ フォート率	%	e-Radの研究 者番号 科研費研究 者番号(8 桁)	生年月日 (西暦)
<b>研究業績</b> 本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、知的財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを researchmap 等からコピーする等の方法で記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限りです。 ① 例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入してください。 ② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略しても可。			
本事業における他の課題の応募状況			
課題の区分		課題名	申請区分 (代表機関/再委託先機関)

(様式7)

研究代表者だけでなく、分担者も含め、競争的資金以外の公的資金による助成や、申請中のものも記載してください。

他制度等による助成

- (1) **事業代表者及び分担実施者**のうち、他制度等（公的資金）による助成を受けているもの及び申請中のものがある場合には、以下のとおり必要事項を記載してください。再委託等で他機関を通じて助成を受けているもの、競争的資金以外の公的資金、申請中のものも含まれます。
- (2) 該当がない場合には、「助成制度」の欄に「なし」と記入してください。
- (3) 不合理な重複などの判定に使われますので、本申請との違いは明記するようお願いいたします。

記入にあたっては56ページをご確認ください。

研究代表者 or 分担実施者

1. 実施中の研究テーマ

1	助成制度			
	研究者氏名	当該研究者の役割		
	研究テーマ			
	研究期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月	令和元年度エフオート	%
	助成金合計 (見込み)	(本人/課題全体) 令和元年度 千円/	千円	期間全体 千円/ 千円
	本申請との違い	明確に記入ください。 下記【例】の場合、(本人/課題全体)は、 令和元年度 70千円/160千円 期間全体 150千円/340千円		
2	助成制度			
	研究者氏名	当該研究者の役割		
	研究テーマ			
	研究期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月	令和元年度エフオート	%
	助成金合計 (見込み)	(本人/課題全体) 令和元年度 千円/	千円	期間全体 千円/ 千円
	本申請との違い			

2. 申請中の研究テーマ

1	助成制度			
	研究者氏名	当該研究者の役割		
	研究テーマ			
	研究期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月	令和元年度エフオート	%
	助成金合計 (見込み)	(本人/課題全体) 令和元年度 千円/	千円	期間全体 千円/ 千円
	本申請との違い			
2	助成制度			
	研究者氏名	当該研究者の役割		
	研究テーマ			
	研究期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月	令和元年度エフオート	%
	助成金合計 (見込み)	(本人/課題全体) 令和元年度 千円/	千円	期間全体 千円/ 千円
	本申請との違い			

※上記記入内容について、事実と異なる記載をした場合は、課題の不採択、採択取消し又は減額配分とすることがあります。

【例】	令和元年度	令和2年度	合計
総額	160	180	340
本研究者分	70	80	150

(様式8)

## 用語の説明書

本提案書類で記載している専門用語及び略語のうち、難解な専門用語等を記載されている場合等、特に必要と思われるものについて、簡単な解説を記載してください。なお、用語の説明書はよりの確な審査を目的としたものであり、提出を義務付けるものではありません。(記載形式は自由です)



必要があれば提出ください。

(様式 9)

英文概要

Joint proposal form Japan-Russia call in Nuclear Research 2019-2020

Part A -Project Summary

ロシアとの合同審査等に必要となるため、必ず作成ください。

I. General Information

1. Title of the project

2. Thematic area (choose, from the following 3 topics: multiple selections possible)

- Technical Development of analyzing inside reactors by remote control  
 Development of liquid and solid waste treatment management  
 Development of technologies for spent nuclear fuel and fuel debris

Coordinators of the project

Japanese coordinator

Name and Title:

Organisation:

Address:

Telephone:

Fax:

Email:

Website URL:

Russian coordinator

Name and Title:

Name of Organisation:

Address:

Telephone:

Fax:

Email:

Website URL:

3. Project partners

(optional; delete or add partners according to your consortium)

Japanese Partners

1)

Name and Title:

Name of Organisation:

Address:

Telephone:

Fax:

Email:

Website URL:

2)

Name and Title:

Name of Organisation:

Address:

Telephone:

Fax:

Email:

Website URL:

Russian Partners

1)

Name and Title:

Name of Organisation:

Address:



Telephone:  
Email:

Fax:  
Website URL:

2)

Name and Title:  
Name of Organisation:  
Address:  
Telephone:  
Email:

Fax:  
Website URL:

## II. Main objectives of the project - Project summary

(Max. : 3.000 characters)

---

## III. Project description

(Max. : 15.000 characters)

### 1. Work plan of the project (Description of work packages)

### 2. State-of-the-art of the topic (Concise literature review)

### 3. Main areas of experiences/expertise of the project partners relevant to the project

### 4. Added value of your project compared to the state-of-the-art

---

## IV. Project Goals and planned utilization of results

(Max. : 3.000 characters)

---

## V. Policy Relevance Of The Proposed Project With Reference To Relevant National/ International Programs (Russian side ONLY)

(Max. : 2000 characters)

### 1. Contribution to Russian Federal Target Program «Research and development on priority directions of scientific-technological complex of Russia in 2014 - 2020 years»

---

## VI. Added Value Of The International Cooperation

(Max. : 2000 characters)

## Part B – Project Duration And Funding Requirements

### I. Provide A Concise Timeline For The Activities (work plan incl. milestones)

### II. Provide A Concise Budgetplan For The Activities (+ funding rate)

(1RUB = appr. 1.67 JPY / 1JPY = appr. 0.6RUB)

Type of costs	Participating organisations	2019	2020	TOTAL
Research materials		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
Personnel costs		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
Travel		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
Living expenses		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
Organisation of events		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
Eligible indirect costs		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
		(RUB)	(RUB)	(RUB)
		(JPY)	(JPY)	(JPY)
TOTAL	Russian side	(RUB)	(RUB)	(RUB)
	Japanese side	(JPY)	(JPY)	(JPY)

### **III. Provide A Description For Additional Budget (optional)**

Provide details of the support being sought from other collaborating institutions and details of the contributions from the project leader's institution IF ANY (please include both monetary and in-kind contributions)

## **Part C - Coordinators' CVs**

(max. 2 pages each)

### **CV Japanese Coordinator**

#### **PERSONAL DETAILS**

Full Name and Title:

Date of Birth:

Nationality:

Country of Residence:

Institution:

Contact Details (telephone, email):

#### **EDUCATION**

#### **PUBLICATIONS**

#### **EXPERIENCE**

# CV Russian Coordinator

## PERSONAL DETAILS

Full Name and Title:

Date of Birth:

Nationality:

Country of Residence:

Institution:

Contact Details (telephone, email):

## EDUCATION

## PUBLICATIONS

## EXPERIENCE

Date: DD//MM/YYYY

Responsible Institution  
(signature and seal)

Responsible Person  
(signature)

## 提案書類チェックシート

提案書類について、欠落がないかチェックしてください。**提出は不要**です。

提案書類の提出先等については、「Ⅲ. 2. 提案書類の作成」を確認ください。

チェック欄	チェック項目		備考
<input type="checkbox"/>	様式 1	申請書	—
<input type="checkbox"/>	様式 2	提案課題全体の研究計画	6～7 ページ程度
<input type="checkbox"/>	様式 3	全体計画の内訳	—
<input type="checkbox"/>	様式 4	機関別研究計画	機関ごとに作成 3～5 ページ程度 / 1 機関
<input type="checkbox"/>	様式 5	事業代表者及び研究者の研究歴等	—
<input type="checkbox"/>	様式 6	研究者調書	研究者ごとに作成 1 ページ / 1 研究者 (露国側は代表者のみ)
<input type="checkbox"/>	様式 7	他制度等による助成	—
<input type="checkbox"/>	様式 8	用語の説明書	必要に応じて作成
<input type="checkbox"/>	様式 9	英文概要	合同審査用
<input type="checkbox"/>	/	審査基準 (iv) にある「ワーク・ライフ・バランス等の取組に関する評価」における認定等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認通知がある場合は、その写し	—

○チェックシートは、特に提出は不要ですが、提出前に十分ご確認ください。